

手術名	腹腔鏡下手術	ID-	入院病棟	担当医師	担当看護師
		様			

月日	平成 年 月 日	月 日			
経過	入院日(手術前日)	手術当日(手術前)		手術後	
処置 検査	 午後に毛を剃ります。  夕食後19時頃に浣腸をします。  夕方に必要に応じて主治医の処置があります。 ※子宮の入り口を拡げる処置をします。	 午前の手術であれば6:30頃浣腸をします。 午後の手術であれば9:30頃浣腸をします。 浣腸、排便後血栓予防のストッキングを履いて下さい。 お尻に床ずれ予防のテープを貼ります。 		 - 手術後血栓予防の機械を身につけます。心電図モニターと酸素マスクを付けます。 - 帰室直後は何度かお部屋へ状態観察に伺います。	
内服 注射	 下剤をお渡しします(21時に内服して下さい)。	 手術室に入室後、点滴開始します。		 点滴は翌日の午前中まで続きます。必要に応じて抗生剤や痛み止めの注射を追加します。	
食事	 夕食後は絶食です。 水分(水、茶、スポーツ飲料)は、手術予定時間の2時間前まで飲水可です。 OS-1ゼリーは、午前手術は2本、午後手術は4本渡します。	 午前の手術であれば7時まで 午後の手術であれば10時まで お茶・水・OS-1が飲めます。 OS-1ゼリーは全て飲んでください。		 帰室後6時間後より水分が摂れます(必ずスタッフに確認して下さい)。 ・ (月 日 時 分 以降に水分がとれます)	
活動	 安静度の制限はありません。	 手術直前まで歩けます。		 ベッド上安静です。麻酔の覚醒状況を見てベッド上での体の向きを変えるお手伝いをします	
清潔 排泄	 毛を剃った後、シャワーに入れます。	 手術の30分前までにトイレを済ませておいて下さい。		 手術後は、尿を出すための管(チューブ)が入っています。	
指導 説明 その他	 主治医から説明があります。  <u>説明が理解・納得できたら同意書を提出して下さい。</u>  午前中に看護師から手術前のオリエンテーションがあります。	手術中、ご家族は病室か病棟のデイルームでお待ち下さい。		代表的なパスの一例です	

手術名	腹腔鏡下手術	ID-@PATIENTID	入院病棟	担当医師	担当看護師
		様			

月日 経過	月 日 術後1日目	月 日 術後2日目	月 日 術後3日目	月 日 術後4日目
処置 検査	- 状態が落ち着いていれば9時頃に血栓予防の機械、モニター、マスクを外します。 - ガスが出ているか確認します。出ていないようであれば、機械でお腹を温めます。  6時頃、採血があります。 尿検査(尿の管から採取)があります。 - お尻の床ずれ予防テープを剥がします		自由に歩行できれば血栓予防のストッキングを脱ぎます(医師の指示で続行することあり)	 朝6時頃採血 早朝に尿検査 (尿コップはステーション前のボックスに提出)  抜糸します。  シャワー後、退院前の診察があります。 問題なければ退院できます。
内服 注射	 異常がなければ点滴は午前中で終了です。 貧血があれば注射が追加されます。		 排便がなければ便秘薬をお渡ししますのでご相談下さい。	
	 痛みが強ければ、痛み止めをお渡しします。			
食事	 夕食から5分粥食です。 普通食になるまでは病院の食事以外は控えて下さい。	 夕食から全粥食です。	 夕食より普通食 状態によって制限食が必要になる方は、病院の食事以外は控えて下さい。	
活動	 ベッド上安静です。体の向きを変えたりベッドに座ったりはできません。	 午前中にベッドから足を下ろして座る練習をします。 ・その後、少しずつ歩行の練習をします。	 安静度の制限はありません。	
清潔 排泄	 体を拭きます。 歩けるようなら尿の管を抜きます。	歩けるようなら尿の管を抜きます。(午前中)	 体を拭きます。	 異常がなければシャワーができます。 退院診察までにおすましく下さい。
指導 説明				 主治医及び担当看護師から退院後の生活についての説明があります。